

令和6年度 給付型奨学金(直接応募)

2024/12/18

No.	募集团体名等	対象学生	応募資格等 ※詳細は募集要項を確認してください	募集人員	申請期限	応募方法	募集要項・願書等の取得	支給額 ※括弧内は給付期間
-	株式会社 パルライン		大学に在籍し、各種奨学金を受けている大学生で、当社で継続的にアルバイト就労が可能な方		随時	直接応募	財団等ホームページに掲載	就労支援付・給付型奨学金 アルバイト代に加え、半期10万円 (年間20万円)の給付奨学金 (卒業までの期間/最大4年間)
105	公益財団法人公益推進協会 (タクト奨学金)	学部生	<ul style="list-style-type: none"> ・税理士・公認会計士資格の取得に専念している25歳以下(大学院生は対象外)の者 ・収入基準は募集要項を確認すること ・税理士志望者は、税理士試験2科目以上合格していること ・公認会計士志望者は、公認会計士試験を1回以上受験したことがあること 	全国4名程度	12/18(水)	直接応募	財団等ホームページに掲載	一時金20万円
90	一般財団法人霞山会	大学院生	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国籍を有する者で、大学院(修士・博士課程)に在籍(2025年4月入学予定も含む)し、応募時に下記の年齢であること。 ①修士課程在籍(2025年4月入学予定も含む)者・・・30歳未満 ②博士課程在籍()者・・・40歳未満 ・近現代中国または台湾に関する政治、経済、歴史、教育・文化の各分野を専攻する者。 ・給与所得者ではない者。 <p>★併給不可(奨学金が謝金を伴う原稿執筆等を受託した場合、これを妨げない)</p>	全国で最大6名	1/15(水)	直接応募	財団等ホームページに掲載	給付額:10万円/月
45	荒井芳男記念財団	学部生	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年4月1日現在において、大学の1年生～4年生に在籍する者 ・学部、学科は機械系、工学系、化学系、電気系である者(生命化学、生物科学等を除く) ・2024年4月1日現在、23歳以下である者 ・2024年4月1日現在、日本国籍または日本の永住権を有する者 ・最短修業年限にて卒業の見込みがある者 ・学業優秀で経済的支援を必要とする者 ・★他の奨学金等との併用についての制限はありません 	全国35名程度	12/22(日)	直接応募	財団等ホームページに掲載	年額10万円
91	岩谷直治記念財団	大学院生	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国籍を有する者 ・2025年4月1日時点で日本に在住し、大学院の修士課程または博士課程に在籍している者または入学決定者 ・自然科学系および関連する学際分野を専攻している者 ・2025年4月1日時点の年齢が修士課程は満30歳未満、博士課程は満35歳未満の者 ・経済的援助を必要とする者 ・奨学金支給1年目に5回開催する奨学生例会に年間を通して出席し、奨学生としての義務を果たせる者 ・奨学期間中に他国への短期留学、交換留学等により日本を離れる予定のない者 <p>★他機関からの奨学金や研究支援金等との併給不可</p>	全国で5～10名程度	12/20(金)	直接応募	財団等ホームページに掲載 ※推薦状の作成は、指導教員に依頼してください。(募集要項「6. 推薦教官へのお願い」参照)	月額:15万円 (2025年4月1日より標準年限までの最長2年間)
40	日本未来財団	学部3年 修士1年	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国籍を有すること ・学部3年生又は修士1年生であること(2025年3月31日時点。学部、学科に制限はありません) ・募集年度4月1日時点で年齢25歳以下であること ・経済的な理由により学費の支弁が困難であること ・学業成績、家計状況の目安は募集要項で確認すること ・★他の奨学金制度への併願又は既に利用している場合も給付対象とする 	全国10名	1/31(金)	直接応募	奨学支援係ホームページよりダウンロード	月額25,000円(年額30万円) (1年間) ※3月末日に年額を一括給付
106	森下仁丹奨学会	学部生 大学院生	<ul style="list-style-type: none"> ・志操堅実、学力優秀でありながら、経済的理由により学業の継続が困難な日本国内の大学生又は大学院生(ただし留学生は除く) ・家計基準:日本学生支援機構第一種に準ずる。大学院生についても日本学生支援機構の学部生と同等の家計基準を適用する。(日本学生支援機構のHP等で、学部生の第一種奨学金の基準を満たしているか事前に確認してください) ・学力基準は募集要項で確認してください。 ・★日本学生支援機構等返還を要する貸与型奨学金を除き、他の給付型奨学金との併願・併用不可。但し、授業料の減免又は免除については併用可。 	全国40名程度	3/7(金)	事前に大学へ相談 ※申請期限までに奨学支援担当係へ申請希望である旨を申し出てください。複数名の応募があった場合、学内選考を実施します。	財団等ホームページに掲載	月額3万円 (2025年6月より最短修業年限(毎年度末に継続可否の審査を行う。))
107	岩佐教育文化財団	学部生	経済的に就学が困難な大学生 ※大学院生は除く	20名	2/3(月)	直接応募 (1/6～応募可能)	財団等ホームページに掲載	年額120万円 (※1年毎の再選考により、更新継続する場合あり)